

第6回 板橋第六小学校改築検討会

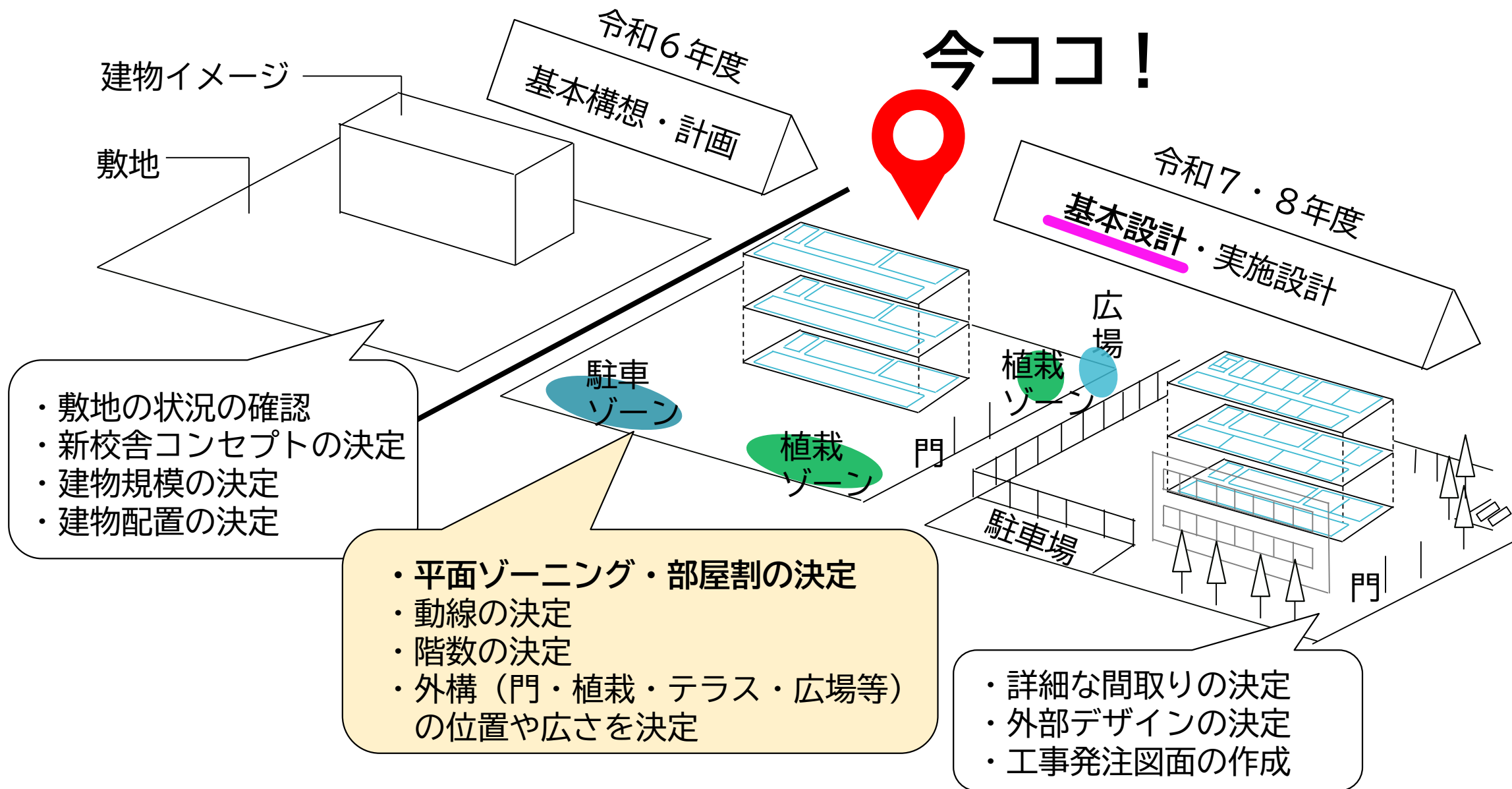
(2) 基本構想・基本計画の策定について

(3) 平面ゾーニング案について

令和7年6月4日 新しい学校づくり課

設計の流れ（今年度決めること）

1



工事工程について

STEP1 新校舎（Ⅰ期）工事



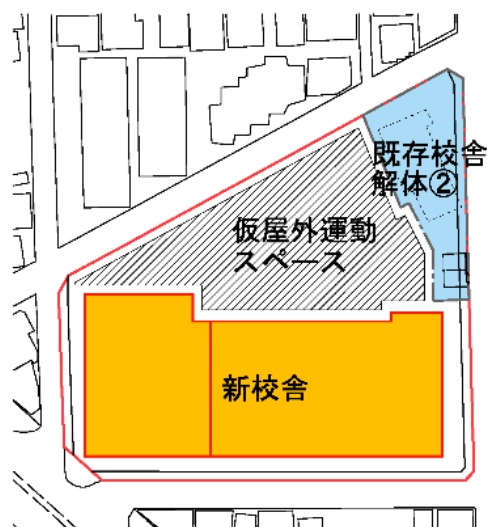
STEP2 既存校舎解体①



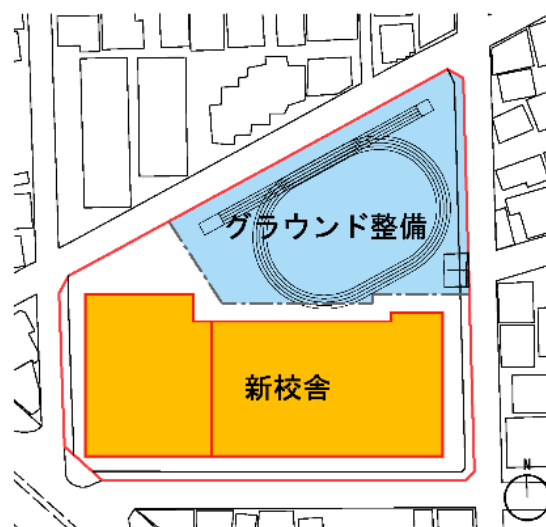
STEP3 新校舎（Ⅱ期）工事



STEP4 既存校舎解体②+プール改修



STEP5 グラウンド整備



凡例	使用建物	工事建物
	仮設校舎	解体建物
	工事エリア	

スケジュール について

年度（令和）	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
基本構想 ・基本計画										
基本設計 ・実施設計										
仮設校舎										
改築工事 （校舎解体、 外構整備含む）										
供用開始										

The chart illustrates the following timeline:

- 基本構想・基本計画**: R6 to R7
- 基本設計・実施設計**: R7 to R8
- 仮設校舎**: R8 to R10
- 改築工事**:
 - I期工事**: R8 to R10 (includes STEP1: 校舎解体① in R9)
 - II期工事**: R11 to R13 (includes STEP2: 校舎解体② in R11, STEP3: 校舎解体② in R12, STEP4: 外構整備 in R13, and STEP5: 外構整備 in R14)
- 供用開始**:
 - 一部供用開始**: R11 to R13
 - 新校舎供用開始**: R14 to R15
 - 全面開校**: R15

Q & A よくいただく ご質問（1）

Q

建物や校庭の大きさ、学級数等はどうなりますか？

	現状	改築後	
学級数	14学級（R7.5.1現在）	24学級（R20年度想定）	+10学級
校舎の面積	約5,000㎡	約9,800～10,800㎡程度	約2倍
教室	約63㎡	約68㎡	
体育館（アリーナ）	約510㎡	目標：約1.5倍程度	
校庭（人工芝）	約2,400㎡	目標：同等程度	

Q

新校舎はいつから使えますか？

令和11年度中には新校舎の一部を使用開始できる見込みです。すべての工事が終わるのは令和14～15年頃の見込みです。

Q & A よくいただく ご質問（2）

Q

工事期間中、体育の授業や校庭の利用はどうなりますか？

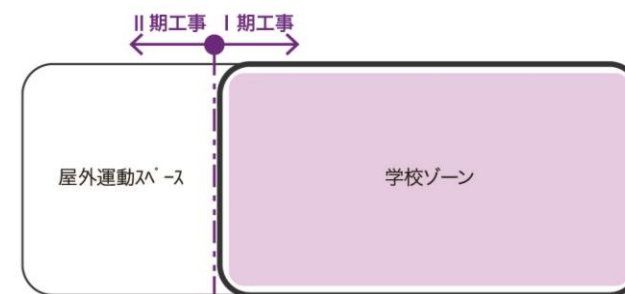
場所	利用の想定
屋内の体育授業	一期工事中は、既存の体育館を利用します。二期工事中は、体育館が使えないため、屋内プールの空間を代替えスペースとして利用する想定です。
プールの授業	一期工事中は、既存のプールを利用します。二期工事中は、プール授業はできません。
屋外の体育授業や運動会	近隣の小中学校の校庭を借りる想定です。移動中の安全対策の人員確保を行う予定です。
校庭の地域開放	十分な広さの確保やボール等の侵入対策が必要であり、現時点では難しいと考えております。仮校庭がどの時期にどの程度の大きさを確保できるかは、今後検討いたします。



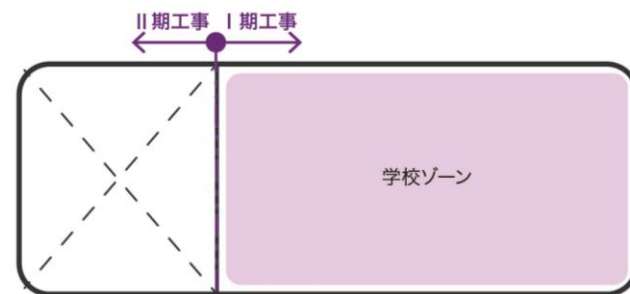
5階平面図



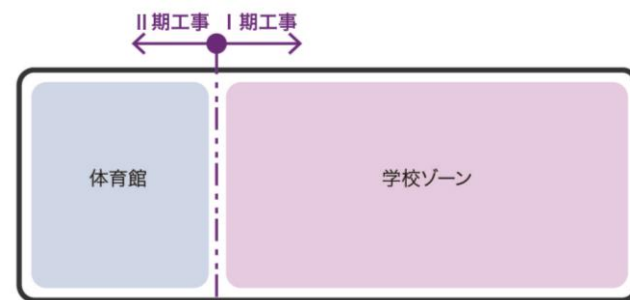
4階平面図



3階平面図

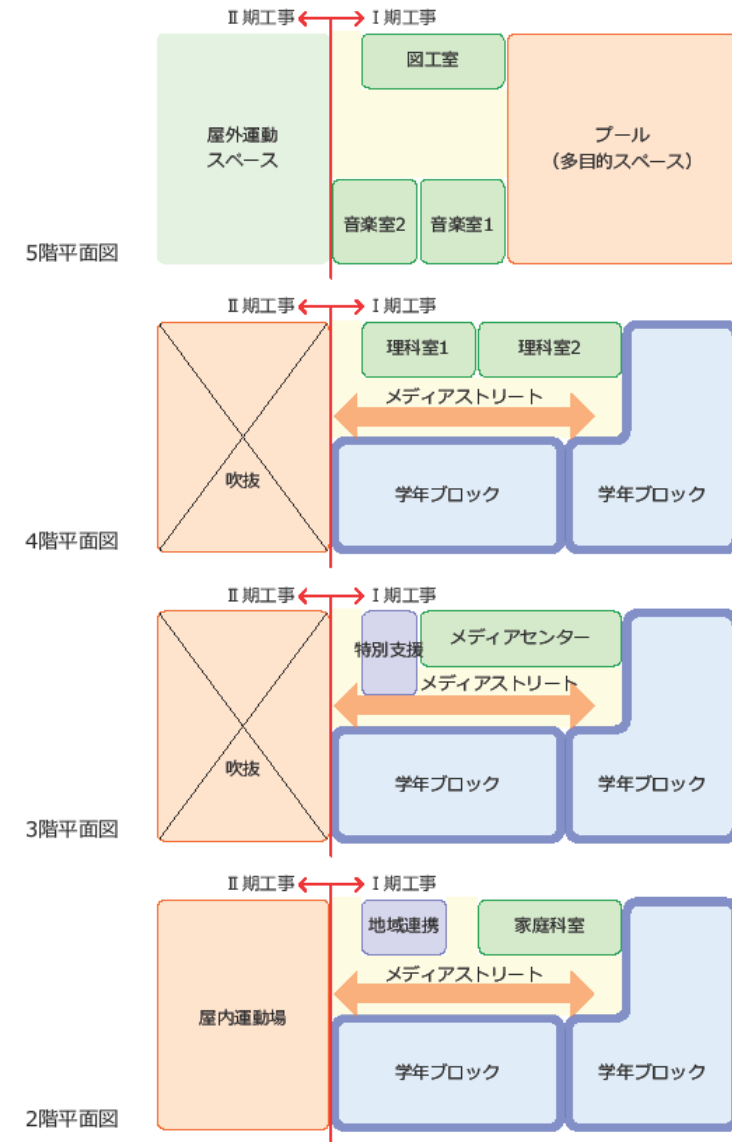
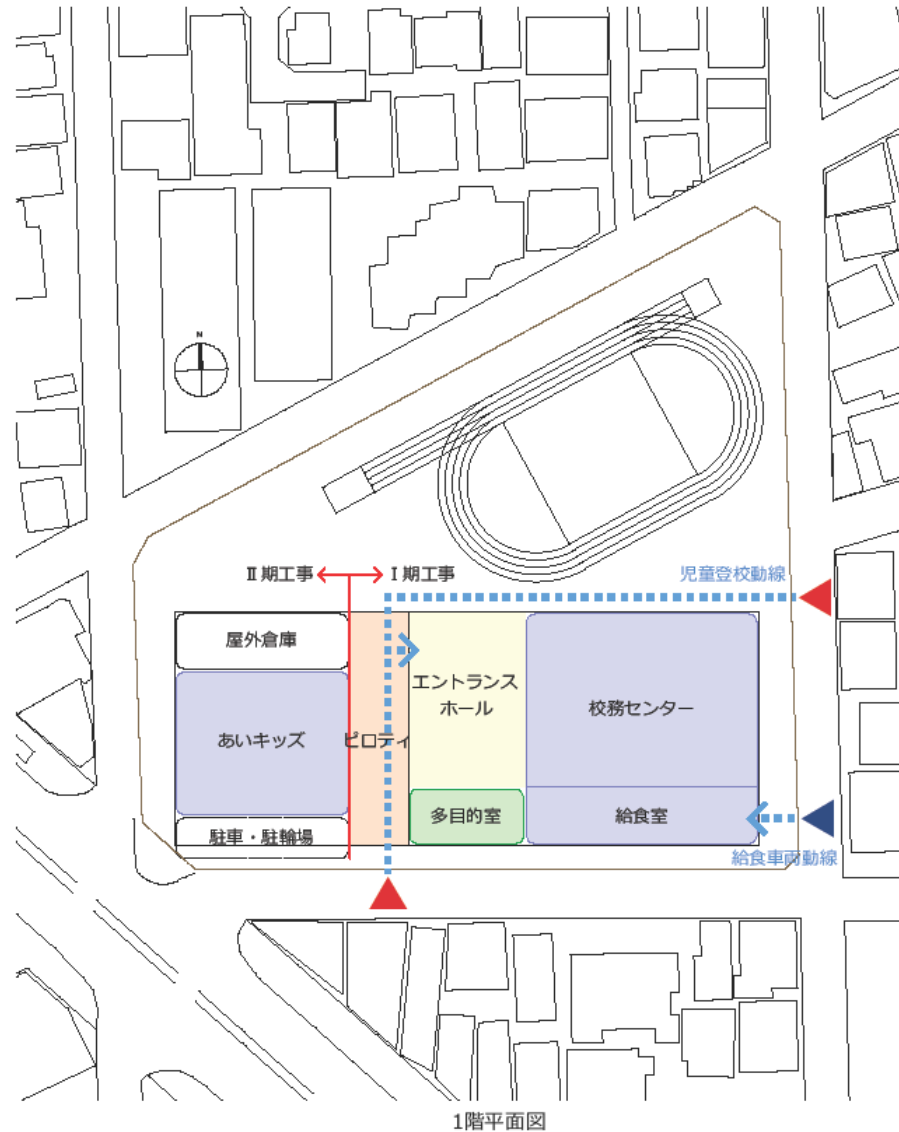


2階平面図



設計のポイント

- ① プールは最上階に屋根付で配置
- ② 普通教室は学年毎にまとまりを持って各フロアに2学年配置
- ③ 交流・移動の軸となるメディアストリート
- ④ まち・地域との豊かなつながりに配慮したピロティや多目的室
- ⑤ 学校の中心となる3階にメディアセンターを配置
- ⑥ 開放的な屋外運動スペース



これまでいた だいているご 意見（抜粋）

1 ゾーニング・動線計画の工夫

➡ 既存校舎よりも大きい5階建て以上の小学校となります。子どもたち・教職員の日常的な利用のしやすさのほか、地域開放・地域連携、災害時の避難所利用、将来的な施設転用など、様々な場面での利用を考慮して計画を進めます。

2 工事期間の短縮

➡ 工事工程や仮スペースでの運用等の工夫により、工事期間が少しでも短くなるよう検討していきます。令和15年度の開校100周年までの工事完了を目指します。

3 機能の充実

- ➡ バリアフリー対応：エレベーター、多目的トイレ、障がい者用駐車場の設置
- ➡ 環境配慮：太陽光パネル、緑のカーテン、緑化の充実、木材利用の検討
- ➡ 災害対策：避難所利用の想定、かまどベンチ・マンホールトイレの検討
- ➡ 防犯対策：見通しの良いつくり、セキュリティ区画の検討、不審者対策

これまでいた
だいているご
意見（抜粋）

4 プールの在り方

- ➡ 屋内プールとすることで、周辺建物からの視線対策、天候に左右されないプール授業の開催を担保します。
- ➡ 授業で利用しない時期や工事中の多目的スペースへの転用について詳細を検討していきます。
- ➡ 近隣の小中学校プールの集約（拠点校化）や将来的な地域開放も視野に入れて、検討を進めます。

5 地域連携・地域開放

- ➡ 地域コミュニティの拠点や活性化につなげるため、可能な限り地域に開放するよう検討します。また、地域の方も使いやすいよう各室への動線や区画の位置を検討します。

6 歴史の継承

- ➡ 卒業記念制作の品や記念樹などが数多く残されていますが、残すもの・移植等が可能かどうか調査を進めます。写真パネル化や部分保存なども検討します。また、それらの展示方法も検討していきます。

これまでいた だいているご 意見（抜粋）

7 子どもたちの居場所づくり・遊び場の確保

- ➡ オープンスペースや校内別室など、居場所の選択肢を設けます。たたみや壁紙の色、ベンチやソファの設置などしつらえの工夫も検討します。
- ➡ ピロティや屋上運動スペースの設置により、遊び場となる空間を確保していきます。具体的な遊びの種類や活動のシーンを想定し、広さやしつらえを検討していきます。

8 子どもの意見の反映

【令和6年度 4年生へのワークショップ結果】

子どもだけの小さな場所 / いろんな遊具 / 大きな窓

- ➡ 設計を進める中で、積極的に取り入れていきます。引き続き、子どもたちの意見を聞く機会を設けていきます。

9 その他

- ➡ 一足制（上履きへの履き替えなし）を前提に検討します。
- ➡ 校庭は人工芝を基本としつつ、車両の進入範囲を検討します。